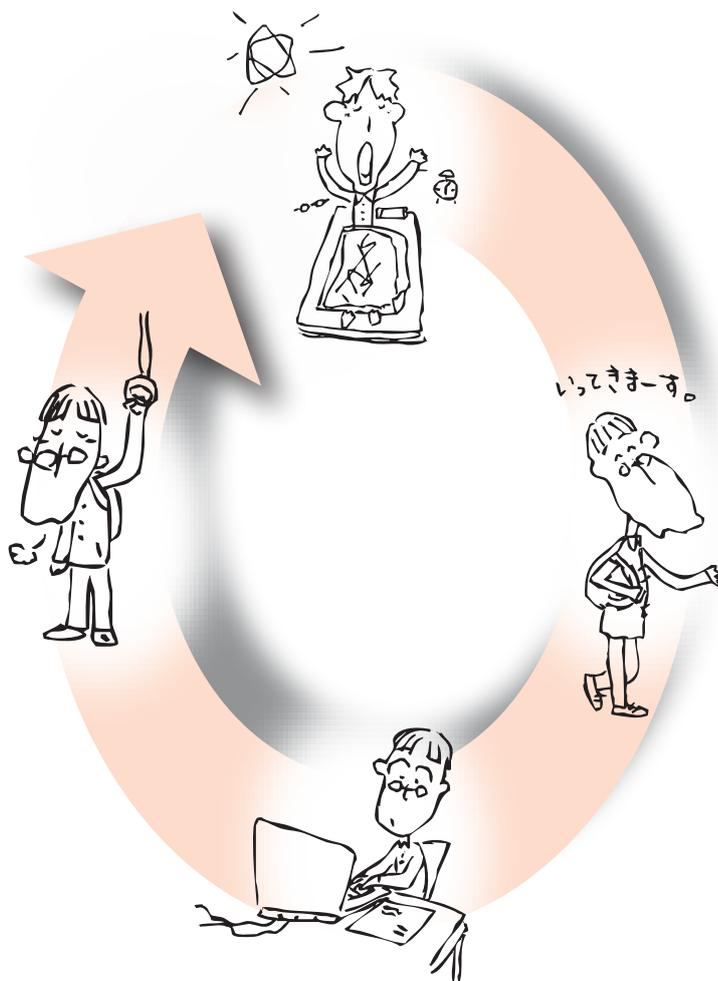


Season 2011-2012年 冬・春号

in the CUDO

-会員の皆様へ-

「おはよう」から「おやすみ」までのCUD問題



おかげさまで多くの製品や施設が分かりやすい色使いや表示に変わってきました。しかし改善されていないものや問題にすら気づかれていないものがまだまだたくさんあります。色弱者が普段どんな問題を抱えているか、どういった事が利用者全体の視点から作られていないのでしょうか。このテーマを『「おはよう」から『おやすみ』までのCUD問題』と題して“起床編”“帰宅編”“会社編”など普段の生活時間軸に沿って数回に分けてレポート致します。 (事務局)

▶ p2より

例えばこんなこと・・・

電車の中で読みづらい広告によく出会います。「あ、安売りの広告だったのか。SALEの文字が赤文字なのかな…見えないな…」



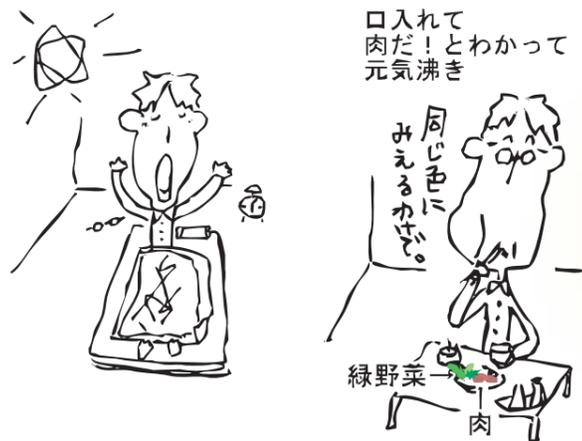
マーク合格年表示のお知らせ



CUDOは2012年5月1日より新しい検証合格マークを採用いたします。新しいデザインは、CUDOの検証合格した年をマークに並記いたします。また過去にCUDO検証に合格した製品に関して、デザインなどの変更が一切ない場合はこれまでのマークを今後も引き続きお使いいただけます。詳細は改めてお知らせいたします。 (事務局)

「おはよう」から「おやすみ」までのCUD問題 その1 おはよう編

私の一日は朝から驚きの連続です。私を驚かせるもの…それは「色」です。
生活の中にはまだまだ、配慮されたら良いな〜と思うものがたくさんあります。今回は起床編ということで、朝起きたところから出勤途中までお付き合いをお願いいたします。



朝食

朝起きて、皆さんは何をしますか？私はまず朝ご飯です。ご飯にみそ汁、それにこれは…なんだろな。食べてみないと分からないものがあります。形で分かるものもありますが、色は頼りにならない。口に入れてから「お、こりゃ肉だ」なんてことも。こういう楽しみ、皆さんご存知ですか？

歯磨き

ゴシゴシ…ありやうや、これは娘の歯ブラシだ…なんて話をよく聞きます。色弱のお父さんは嫌われちゃうかもしれません。注意しようと思って形の違いで覚えていた歯ブラシが…あら？…買い替えられている…。「どれ使えば良いの？」と聞いても、返答は「水色の方！」ですって…。どっちが水色なのやら…。



服選び

「随分派手なネクタイですね〜」と言われました。ん？地味な茶色じゃなかったっけ…こりゃオレンジだな。皆さんこういった経験ありますでしょうか。色を勘違いして身につけていることが、残念ながら色弱者にはよくあります。左右違う靴下をはいてしまうことも…。おっちょこちよいではないんです。同じ色に見えたもので…



p3へ



出勤

なんだか電気の消し忘れが多い。家族に怒られてしまいます。電気代もったいないしなあ…でもなんでだろう…と思ってよく見てみると、電気のスイッチに小さなLEDを発見。さらによく見てみると、点灯時と消灯時で色が変わっている…。1色タイプのものもあります。しかしこちらは…LEDが光っているのか分からない。消灯は部屋の電気自体を見て確認していますが…もっと便利になっても良いのにな。

商品パッケージ

コンビニで買ったガム…やけに甘いな…。むむ！ミントじゃなくてピーチを買っていた。好きな味のガムも買えないのか…シクシク。ピーチもおいしいんです。でも好きな味を買えた方がいいと思いませんか？



出勤は悩む時間を考慮して



電車通勤

「各駅」に乗りたいのだけど…これでいいのかな…と悩むことがあります。電車のホームなどにあるLED表示版では、使用されている赤、緑、橙の3色LEDが1色に見えています。また、赤のLEDは、ものによって暗いため読むことができません。意識的に文字を読むように注意していますが、急いで移動する時は特に困ってしまうことも。路線図の路線ごとの色分けはCUDの問題例でよく出てきますが、表示版など、こんなところにも不便さがあるのです。

しょうがないこともあります。解決できることもたくさんあるはず。つまり利用者全体の視点には「やさしいへの社会」へのアイデアが詰まっています。次回以降もよろしくお願いいたします。

アロン化成株式会社

取締役
ものづくりセンター長
増田 紀之



聞き手 ㄀): CUDO 話し手 増): 増田様

㄀) アロン化成はどのような企業ですか。

増) 私どもの会社は1950年の創業当時から樹脂加工の製造メーカーとして、塩ビパイプ等の管工機材、そして高齢者、要介護者へむけたライフサポート製品の2つの製造を主軸に事業をしております。中でもライフサポート製品を中心とした事業展開では、会社の基本コンセプトにある「安心・安全」を第一に考え、CUDを含めたUDの取り組みをしております。

㄀) CUDへ取り組んだきっかけを教えてください。

増) ライフサポート製品の主な対象者となる高齢者・要介護者の方へ向けた様々な「安心・安全」を研究していました。その際、先天性である色弱者の存在とCUDについて知り、両者を含めた、どのような人にもわかりやすい配色やデザインが必要であると気付いたのが取り組みのきっかけです。

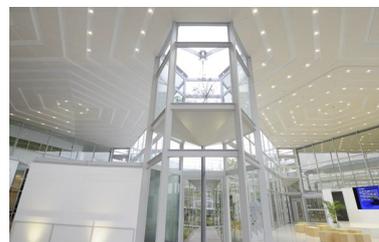
㄀) この度新設された「ものづくりセンター」のCUD化についてお聞かせください。

増) 「ものづくりセンター」は2つの目的が有り、非公開エリアとなる研究開発施設と、自社のものづくりの歴史を皆様へご紹介させて頂く展示エリアで構成されております。この展示エリアにおいても「安心・安全」を目指し、ご覧頂く製品情報の分かりやすさへの配慮や、一般消費者を含めてご来場頂く皆様とのコミュニケーションの場として、相応しい空間となるようにCUDへ取り組ませて頂きました。また建築物においてもUD構造を大きく組み込む事で、研究施設におけるUDのパイオニアとして企業の取り組みを皆様へ知って頂きたく存じます。

㄀) 研究施設UDのパイオニア!素晴らしいですね。



増) ものづくりセンターの中央にある「体験ハウス」においては様々な製品とUDの取り組みが体験できる家になっております。この「体験ハウス」では従来の一般的な段差などがある住宅と、UDに配慮した住宅との比較体験をしていただけます。こちらにおいては今後自社製品がCUDへ取り組んでいく事で家がまるごとCUD化されている様な、一つの「モデル」になるのではないかと思います。

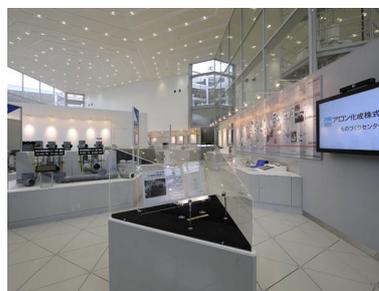


ハニカム構造で構築されたエントランス

㄀) 素晴らしい企業理念のもと企業賛助会員へも参加頂いておりますが、最後に今後の考えを聴かせて下さい。

増) 企業賛助会員へ

と参加させて頂いた事で、他社様の取り組み等を大きく知る機会が増え、さまざまな印刷物や製品の細かなところへ自然と意識が向くようになりました。そうした事から自社においても取扱説明書など今まで眼を向けていなかったポイントが見えてくる様になり、仕事



展示エリア

としてのやりがいに繋がっております。近年ではこういった細かなポイントへ特に力を入れてCUDに取り組んでいくことで、皆様へ「安心・安全」を提供できるのではないかと考えております。



体験ハウス

㄀) ありがとうございました。



ものづくりセンター

認証取得

最近CUDマークを取得した事例をご紹介します。
(順不同)

株式会社三越伊勢丹 “サービスガイド”

百貨店「三越」「伊勢丹」の、各店舗で利用できるサービスが記載されたパンフレットタイプのサービスガイド。(印刷物)

<http://www.mitsukoshi.co.jp/>

<http://www.isetan.co.jp/>

株式会社ケアコム “病棟業務支援NICSS-R8”

ナースコール機能と共に院内情報システムとの連動性を高め、各種データの集約・表示・通知機能を持つことで病棟業務改善に寄与する。病院施設に設置される。(製品機器)

<http://www.carecom.jp/product/medical/nursecall/item01/r8/index.html>

株式会社エアロ・フォト・センター “高津区総合ガイドマップ”

神奈川県川崎市高津区にある区内の施設や避難場所などが分かりやすく表示された地図。区役所を始めた区主要公共施設等で配布している。(印刷物)

<http://www.city.kawasaki.jp/67/67soumu/home/takatu/kanko/guidemap.html>

NECデザイン&プロモーション株式会社 “LaVie とことんサポートPC ～はじめてガイド～”

NECのノートPC「LaVie」シリーズの分かりやすい取扱説明書。「とことんサポートPC」購入時に同梱される。(印刷物)

<http://121ware.com/tokoton/>

日立公共システムエンジニアリング株式会社 “アクセシビリティサポーターZoomSight”

高齢者をはじめ視力の弱い方や色の識別の苦手な方がアクセシビリティに配慮されたホームページをより快適に利用しやすくするためのアシスタントツール。(Webツール)

<http://www.gp.hitachi.co.jp/zoomsight/>

SEASON IN THE CUDO No.8 冬・春号 2012年 4月20日発行
発行元: NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-5昌平橋ビル3階
TEL/FAX: 03-6206-0678
発行人: 武者廣平

news

企業団体賛助会員の集い「CUDフォーラム」のご案内

企業団体賛助会員の交流・親睦を深めるサロン「CUDフォーラム」を開催予定しております。

(事務局)

雑誌、新聞に掲載されました

朝日小学生新聞 3月30日付

<http://www.asagaku.com/shogakusei.html>



日本物流新聞 1月25日付

<http://www.nb-shinbun.co.jp/>

カラーUDは海外で重宝?



編集後記

春に三日の晴れはなし、と言いますが、雨も暖かく感じる今日この頃です。春は秋と同様に過ごしやすい日が続くためか読書に精が出ます(あくまでも個人的に)。

学生の頃に読まれた難解な「記号学」を、平易な言葉で簡単に説明している本に出会いました。読み進めると、「概念」と「物の名前」の興味深い関係性に気づかされました。記号学においては命名されていない物は存在しないという理論が一般的です。しかしこれを色の名前で考えた場合、どうなるのだろうかという疑問を持ちました。一般色覚者にとっては見分けることができ、命名出来る「色」の存在は、色弱者にとって、命名もされていない事実は認識していても、見えていない、見分けられないという状態にあります。記号学においての色弱者の認知や習慣は希有な例なのではないか...と思いつつ...舟を漕ぐ自分にビクリ。読書の春は、秋ほど深まりません。それは「ひねもすのたりのたりかな」という季節柄でしょうか... (事務局)